

# 2019 足利風土祭

## FOODコース

店ごとに前売り券を発売しています。  
それぞれのお店にてお求めください。  
足利市外局番 0284

日程は全て2月中です

### 16日 ココ・ファーム・ワイナリー

田島町611 ☎42-1194

#### 「グラス片手に」 ワイナリー見学とお食事とライブ

時間●12:15～(ワインショップ集合/  
あしバスアッシー行 道線東武足利市駅発11:28)

料金●10,000円(30名) 料理+ワイン&ドリンク+ライブ



昭和33年に開かれた葡萄畑にワイナリーができたのが昭和55年。その4年後から始まったワインづくりが今年では36回目となります。自家製ワインと地元産の食材を使ったお料理、そして横山千晶(ヴァイオリン)と小久保徳道(ギター)のデュオ「ミルベゼ」のライブをお楽しみください。



### 2日 小林懐石料理マナー教室

福居町283 ☎71-0837

#### 「懐石料理のいただき方とマナー」と「お箏演奏」

時間●18:30～

料金●10,000円

懐石料理+ドリンク(お酒)+抹茶+お菓子



1回目からのシリーズが好評。興味はあるけれど、なかなか機会がない「茶懐石」の席。そんなあなたにおすすめの企画です。懐石料理のフルコースをいただきながら、楽しく懐石のマナーを体得できます。前回好評だった渡辺寿美の箏の演奏もあります。



### 16日 カフェ つちのか

大月町3-1 ☎64-8847(大妻工房ロア)

#### 足利マール牛5周年感謝祭 「浅野幸恵アフターバレンタインコンサート」

時間●開場 17:00 スタート 18:00

料金●3,000円(60名)

ライブ+足利料理



大妻工房ロアと長谷川農場(足利市)がつくったカフェ「つちのか」で、足利マール牛と地元野菜を使用した料理、そして足利出身の浅野幸恵の“こころの和む”コンサートをお楽しみください。浅野は藤原歌劇団の正団員で「ラ・ボエーム」ほかのオペラなどにも出演。



### 3日 珈琲処 晴れ晴れ

大町2-3 ☎64-9785

#### 「音・書・香」スペシャルティー珈琲とともに ミーワムーラ アコースティックライブ

時間●開場 17:00 開演 18:00

料金●3,500円



足利の食材を使ったデザートと自家焙煎スペシャルティー珈琲とともに足利ではおなじみのミーワムーラのライブ。店内には霞翠の書も展示。FOOD、音楽、アートの時間をお楽しみください。



### 16日 あしかが旬亭

助戸仲町492-1 ☎43-1161

#### 声優・斎藤次郎が語る渡辺淳一の世界

時間●18:30～(食事スタート)

料金●5,000円(26名)

料理+1ドリンク(追加別料金)



医師を務めるかたわら、小説を執筆。初期の医学を題材にしたものから、歴史、伝記的小説、男と女の本質に迫る恋愛小説と多彩で、医学的な人間認識をもとに、華麗な現代ロマンを描く作家として文壇の第一線で活躍した渡辺淳一の世界を、斎藤次郎が語ります。



### 6日 シチューの王様 ビストロ ガレ

鹿島町1111-2 ☎55-6324

#### 「足利の民話」と「王様のシチュー」のコラボ

時間●18:00～

料金●3,000円(7名) 食事+1ドリンク



本格ビーフシチューの専門店として鎌倉で32年間営業をしていた「ビストロ ガレ」が、足利に移転して1年半。素材と手づくりでこだわる絶品のシチューと、「お話しコロリン」の大川繁子さん(91歳)が語る「足利の伝説と昔話」をお楽しみください。



### 16日 あしかがフラワーパーク「ウエステリア」

迫間町607 ☎91-4939

#### Ciel「ビュッフェコンサート」

時間●開場18:00 食事スタート 18:30～

料金●5,000円(80名)

ライブ+ビュッフェ料理+1ドリンク(追加別料金)



クラシックからジャズ、ラテン、アニメソングなど、様々なジャンルの演奏で楽しませてくれるバイオリン(浅沼杏花)とピアノ(石川陽亮)のデュオユニットCiel。二人のパフォーマンスミュージックを「あしかが美人」をふんだんに使用したビュッフェ料理と共に。



### 10日 COCO SPOON

伊勢南町11-4 ☎41-3399

#### 野村たかあき「らくごえほん・しばはま」を読む 2/2(土)～2/10(日)野村たかあき「鬼の版画」と 「らくごえほん・しばはま」原画展

時間●開場 18:00 スタート 19:00

料金●2,000円 食事+1ドリンク(要予約・追加別料金)



鬼の彫刻・版画家として知られる野村たかあきは、絵本作家としても講談社「絵本にっぽん賞」を受賞している。最新本の「らくごえほん」も好評で、こどもからおとな、落語好きでなくても、立ち止まるほど。めったに見られない原画と、作者本人の朗読も必見必聴です。

